



～地域での支え合いの仕組みづくり
(生活支援体制整備事業)が
はじまっています～

生活支援コーディネーター 地域通信 第1号

令和5年6月発行

生活支援体制整備事業とは：

高齢者が住み慣れた地域で「あんしん」して暮らすための仕組みをつくることを目的として、介護保険法に新しく位置づけされた事業です。「生活支援コーディネーター」を中心に「協議体」や多様な主体が連携をとりながら、生活支援体制の充実、強化を行っていきます。

これからの地域づくり（生活支援体制整備事業）



生活していて何かお手伝いしてほしい
事がある高齢者の方

地域の高齢者のために何かしたい方



社協・川辺



包括・岸田



包括・平山



生活支援コーディネーターに声をかけてください

生活支援コーディネーターは、皆さまと一緒に地域の「支え合い」や「つながり」を増やし、住みやすい地域づくりに取り組んでいきます。

報告 ↑ 相談 ↓

協議体⇄なじよすっぺ会（福祉情報共有会）

地域の皆さまに集まっていただき「地域の課題」「解決の方法」について話し合いながら、生活支援コーディネーターとともに地域づくりをすすめていきます。

～地域にはこんなに良い「つながり」があります～

山寺地区 ユニット伊藤教室



山寺地区で、ダンベル教室があり、「ダンベル以外にも、何か物づくりしてみたい」とメンバーより意見が上がったことから、昨年の12月にユニット伊藤教室が立ち上がりました。

気兼ねなく通える場、代表の伊藤さんの別宅を活動場所として、月2回の第1・3月曜日の午前中に開催しています。

セタづくり、牛乳パックで箱作り、新聞紙で作った赤・青ボール（ダンベル教室で活用しています）など製作し、楽しく活動しています。また、お茶飲み会も兼ねており、笑いが絶えない教室となっています。

銀行の隣の敷地内で、フリーマーケットのような、皆さんの家で眠っている品物を持ち寄り、小物・古着・バックの展示販売・家庭菜園で育てた野菜など販売しています。

「続けていくことが、嬉しくて楽しみ、皆さんが気に入って頂けるものがあれば幸いです」と語る出展者の太田さん。

開催日は、年金支給月は16日、年金支給月以外は、26日となっていますが、天候により変更になることもあります。「かかし」が目印となっています。

是非、お立ち寄りください！

山下地区 なんだい・かんだい市



真庭地区 お茶っこ会



真庭地区では、毎週金曜日に区民会館でラジオ体操を実施しています。終了後、「お茶飲んでがい～」と参加者より声が上がりました。コーディネーター平山にも声がかかり、一緒にお茶会に参加させて頂きました。

ご近所さんも交えて、昔話に花が咲きます。また、「〇〇さん元気なのかな?」「ダンベル教室には来ているから元気だよ」と心配する声も。お茶っこ会を通して安否確認にもつながっています。

地域包括支援センター
電話 0223-37-1171



社会福祉協議会
電話 0223-37-2785